

いこいの森

No.14

〒241-0811 横浜市旭区矢指町1197-1 電話 045-366-1111



手術部

手術部部长 永納 和子



手術部は病院2階にあり、中に6室の手術室があります。ここでは短時間で終わる局所麻酔の手術以外の院内で行われるすべての手術を行っています。

手術室というと一般に怖いところ、冷たく暗いところというイメージがあるようです。しかし、手術を受けられる患者さまの中には、クリーム色を基調にした手術室に入られると「思っていたよりきれい」とか「テレビドラマの手術室より明るい」とおっしゃる方が大勢いらっしゃいます。手術室は明るくて暖かいところです。

この行われる手術は、頭頸部、腹部、心臓、四肢、体表と体全体にわたっています。最近では、内視鏡で行う手術も増加し、以前ならお腹を切っていた胆石症の胆嚢摘出術は今では90%以上が内視鏡手術です。胃腸の手術や卵巣の手術などでも内視鏡の使用頻度は増加し、2007年には140件の内視鏡手術を行いました。

高齢化社会を反映して、ご高齢の患者さまが手術を受けられることが多くなっています。90歳以上の方が手術を受けられることも珍しくはなく、2007年度の最高齢は97歳でした。また周産期センターからの新生児症例では、生後1日目の新生児や体重500gくらいの極小未熟児の手術も行なっています。

2007年度の手術件数は3,360件で、毎年3,000件以上の手術があります。これは一日平均10件になりますが、しばしば1日20件以上になることもあります。このため、ひとつの手術が終了後すぐに次の手術ができるように準備を急ぐなど、なるべく患者さまをお待たせすることがないようにしております。

当院は救命救急センターと周産期センターが併設されているため緊急手術も多く、特に脳神経外科と産婦人科の手術が多くなっています。2007年度の緊急手術は565件で、全体の16.8%を占めました。緊急手術

では一刻を争う患者さまもいらっしゃいます。このような場合に備えて、深夜でも連絡後30分以内に手術室に入室できるように対応しています。

このような手術室で、現在、看護婦21名、クラーク1名、助手1名が働いています。麻酔科医は8名で、うち4名が麻酔科指導医あるいは認定医の資格を有しています。手術するところに局所麻酔薬を注射して行く局所麻酔はそれぞれの手術担当科の医師が行います。麻酔科医は、局所麻酔以外の全身麻酔とクモ膜下脊髄麻酔（背中から注射をして下半身を麻酔する方法、脊椎麻酔）の麻酔を担当しています。

患者さまと手術部のおつきあいは、手術の前から始まります。通常、手術前日に手術部看護師、麻酔科管理症例では麻酔科医と看護師が患者さまにお目にかかり、いろいろ質問をさせていただいたり、手術当日手術室においていただくにあっての注意事項や麻酔についての説明、術前の診察などを行います。このときの診察結果や患者さまのお話をもとに、麻酔方法や手術を安全かつ楽な体勢で受けただけの方法などを考えて準備します。ご心配なことがありましたら、是非このときにご質問いただきたいと思っております。術後も患者さまを訪問して、万が一術後に合併症などが起きた場合の早期発見に努めています。

手術・麻酔は患者さまの生命、予後に直接影響します。その業務を行なう手術部は、患者さまに安心して手術を受けていただけるように、常に「安全」と「清潔」を心がけています。もし手術を受けられることがありましたら、安心しておいでいただきたいと思っております。

